

連続セミナー：
生物多様性保全に役立つ合法木材調達

「海外木材生産国の現状と違法伐採対策の現在」

フェアウッドパートナーズ/FoE Japan
佐々木勝教

1. 連続セミナーの目的

「生物多様性」をキーワードに；

- ① 震災復興および国際森林年の双方に重要な国内外における木材調達法を再考
- ② 海外の木材生産国の現状を背景とした、生物多様性に配慮した木材利用について情報交換
- ③ 合法木材、環境社会配慮された木材利用の普及拡大

国際社会の動向

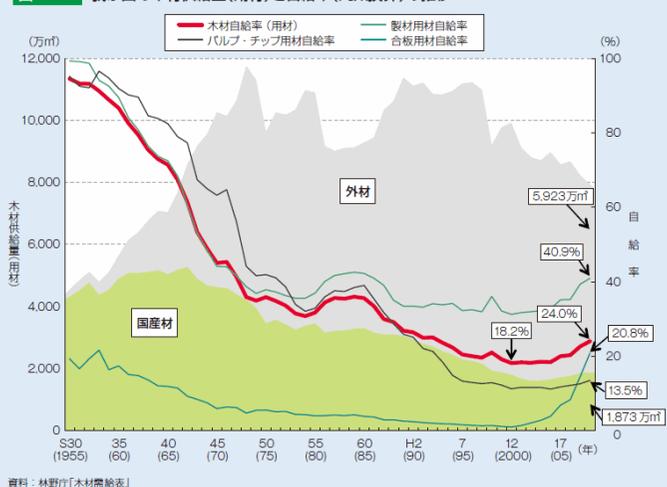
- 1992年「地球サミット」(UNCED)
- 2002年「地球サミットRio+10」(UNCSD)
- 2010年「生物多様性年」→ UNCBD-COP10 (愛知ターゲット) → 「生物多様性の10年」(2011～2020年)
- 2011年「国際森林年」
- 2012年「地球サミットRio+20」持続可能な開発に関する国連会議(UNCSD)
→持続可能な利用を軸とした生物多様性保全に主眼が置かれる。

日本国内の動向

- 2006年「グリーン購入法改正」
- 2006年「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」
→合法性(必須)、持続可能な森林経営(配慮事項)
- 2009年「森林・林業再生プラン」
→木材自給率50%以上
- 2010年「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」
→合法木材、森林認証材に言及
→生態系サービスとしての木材

日本の木材供給量推移(H21林業白書)

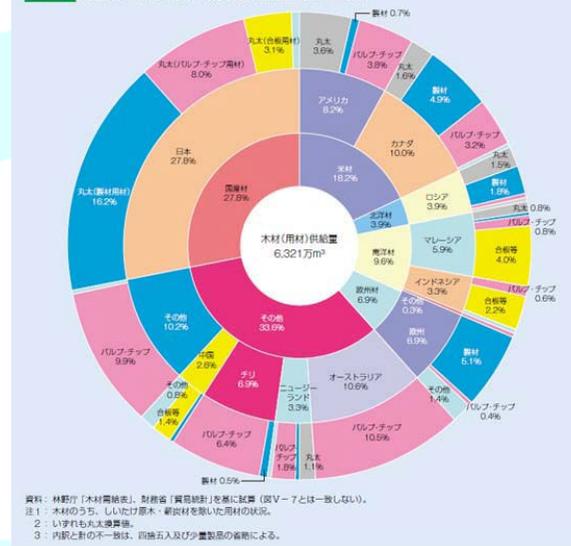
図V-2 我が国の木材供給量(用材)と自給率(丸太換算)の推移



● 木材自給率26%→70%超は輸入材(林野庁,2010)

木材供給状況(H22林業白書)

図V-8 我が国の木材(用材)供給状況(平成21(2009)年)



木材輸入実績(2010, 金額ベース)

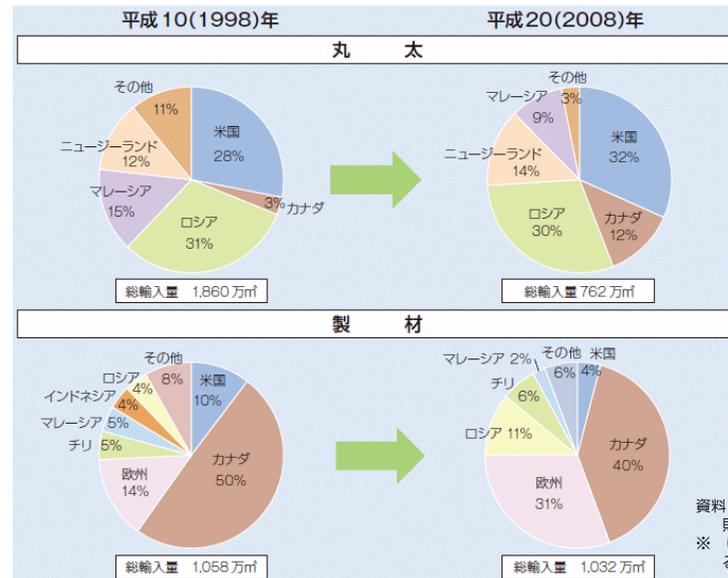
国名	単位: 億円、(百万ドル)			
	2008年	2009年	2010年	前年比(%)
世界計	11,579 (11,199)	8,119 (8,674)	9,160 (10,438)	113% (120%)
中国	1,600 (1,548)	1,257 (1,343)	1,312 (1,495)	104% (111%)
マレーシア	1,494 (1,445)	958 (1,023)	1,029 (1,173)	107% (115%)
カナダ	1,267 (1,226)	801 (855)	1,025 (1,168)	127% (138%)
オーストラリア	1,216 (1,176)	742 (793)	868 (989)	117% (125%)
インドネシア	831 (804)	619 (662)	687 (783)	111% (119%)
米国	917 (887)	583 (623)	668 (762)	115% (123%)
チリ	613 (593)	494 (528)	513 (585)	104% (111%)
フィリピン	280 (271)	316 (337)	419 (478)	133% (143%)
ロシア	610 (590)	388 (414)	390	100%
ニュージーランド				

図V-5 中国の産業用丸太輸入量の推移

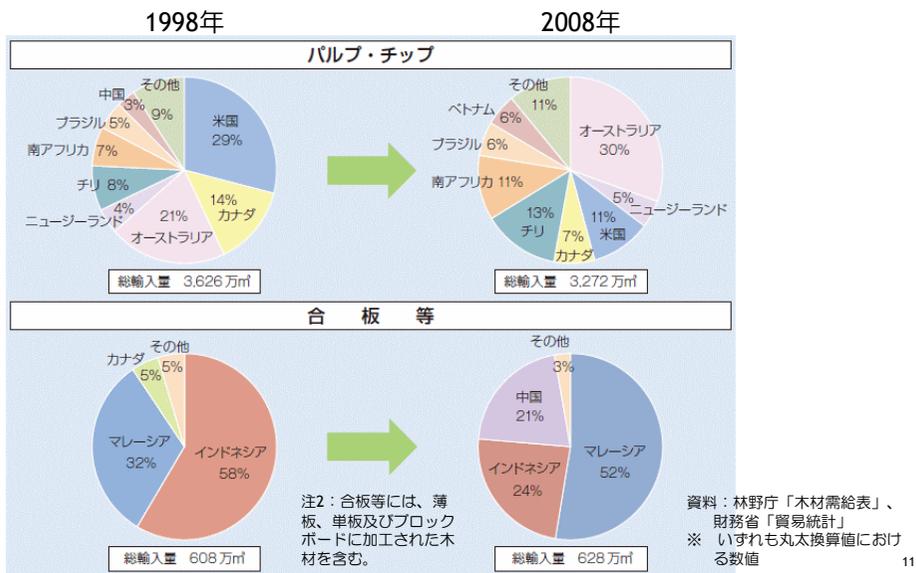


素材はロシア、マレーシアなどから

輸入相手国推移(H21林業白書)



輸入相手国推移(H21林業白書)



3. 世界の違法伐採の現在

違法伐採って何？

歴史

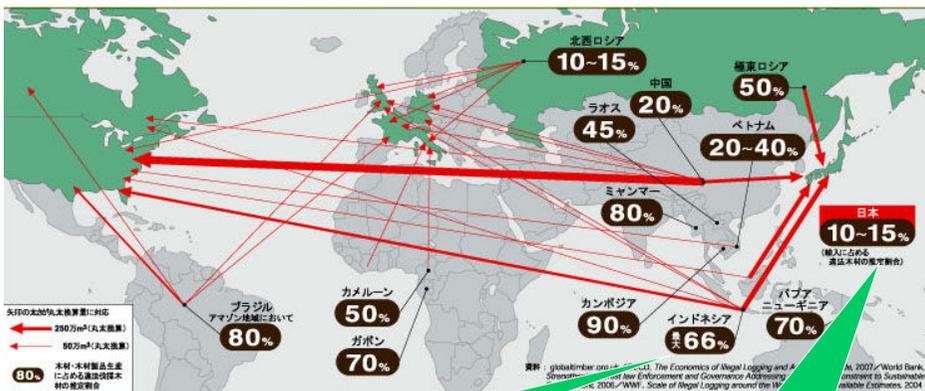
✓熱帯林などの急速な減少・劣化
 ✓1992年、「地球サミット」UNCED（国連環境開発会議）で採択された『アジェンダ21』の第11章に「森林減少対策」

「熱帯林、温帯林、北方林を含む全ての種類の森林の多様な役割・機能の維持や、森林の持続可能な経営及び保全の強化」

定義

- ✓各国の法令違反
- ✓国際条約に違反した行為（ワシントン条約など）

違法伐採の推定割合とフロー



2004年の見積もりでは、インドネシアの伐採の76-80%、PNGの9割以上は違法。

日本に流通する木材・木材製品の2割程度が違法伐採木材によるもの

違法伐採の種類

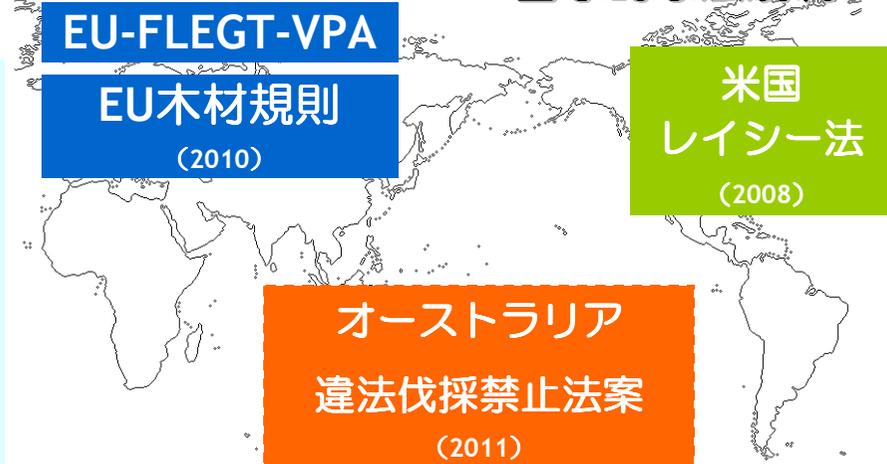
- ①森林管理・伐採段階での違法行為
 - 盗伐
 - 保護区など伐採禁止区域での伐採
 - 伐採許可量超えた伐採
- ②加工・流通・輸出における違法行為
 - 書類の偽造と違法流通（密輸）

違法伐採の要因

- 社会・経済的（隣国からの需要増大と貧困）
 - 法的（林業関連法他の不備）
 - 法施行的（ガバナンスの低さ）
- 不当な土地利用転換

4. 世界の違法伐採対策の動向

～国家的な法規制



*より詳しいEU木材法や米国レイシー法の情報は、以下の報告書の第2部をご覧ください。
「平成22年度 木材調達のグリーン化普及啓発キャンペーン実施業務報告書」(環境省事業/地球・人間環境フォーラム)
http://www.gef.or.jp/activity/forest/world/H22report_mokuzaifukyu.html

世界の主な森林認証と認証面積

FSC Forest Stewardship Council, 国際		144,489,542ha (2011/9)
PEFC Programme for the Endorsement of Forest Certification schemes, 国際		241,451,506ha (2011/8)
SFI (PEFC) Sustainable Forestry Initiative, 北米		79,314,931 ha (2011/9)
CSA (PEFC) Canada Standard Association, カナダ		63,086,187 ha (2011/8)
LEI Lembaga Ekolabel Indonesia, インドネシア		1,072,524 ha (2011/2)
MTCC (PEFC) Malaysian Timber Certification Council, マレーシア		4,646,068 ha (2011/8)
SGEC Sustainable Green Ecosystem Council, 日本		874,181 ha (2011/10)

世界の森林面積(約40億ha)の約10%

フェアウッドとは？

伐採地の森林環境や地域社会に配慮した 木材・木材製品

【リペア・リユース・リデュース】修理・再生した家や家具を使う、印刷を減らす、裏紙を使う

【リサイクル】古材や廃材を使った家具を選ぶ、古紙を使う

【合法木材】新しい木材を使うときは、最低限、違法伐採でない合法的な木材を使う

【地産地消・地域材】できるだけ近くの森から来た木材を選ぶ

【フェアトレード・産直木材、顔の見える木材】誰がどんなふうに管理をしているのか明らかな木材を選ぶ

【森林認証材】森林が適切に管理されていることを、信頼できる第三者が確認した木材を選ぶ

ご清聴ありがとうございました！

www.fairwood.jp

sasaki@foejapan.org